



そらちみなみ

新年号

2010 Vol. 12



明けましておめでとうございます

組合員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年もご家族皆様が健康で良い年でありますようご祈念いたします。

輝く新年を迎えて



代表理事組合長
大友伸彦



代表理事専務
中島孝幸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。組合員をはじめご家族の皆様が、輝かしい平成22年の新年をご健勝で迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃より当組合の各事業に特段なるご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

また、昨年2月に新たな「そらち南農業協同組合」が発足して約1年が経過致しました。このことはひとえに組合員の皆様方のご理解とご協力のたまものと重ねて心より御礼を申し上げます。

昨年の作況は6、7月に連日の降雨と日照不足により小麦・米をはじめとする各農作物に冷湿害をもたらし、水稲は南空知89となり全体的に平年を下回る残念な作況となりました。新J Aと致しましても各農産物や政策支援金などの仮払いを積極的に行うとともに、低利な特別対策資金を創設し、組合員の年度末クミカン精算に資するべく、組織を挙げて対応して参りました。

農業を取り巻く国際情勢は昨年秋以降の世界的な景気低迷が続く中、WTOやEPA交渉などの自由貿易体制促進に向けた交渉が加速されつつあり、依然予断を許さない状況となっております。

加えて国内的には昨年9月に民主党による政権交代が現実のものとなり、公約に掲げた戸別所得補償制度など本年度から実施される予定となっております。

農家の期待と不安が入り混じる中、新政権の農業施策は両町の農業や生産者にとって本当に良い政策なのか、情報の少ない中で現場は混乱しています。

特に転作の水田農業確立対策に変わる水田利活用事業は、全国一律単価に加え対象は販売農家となる見込みで、今まで数年かけて積み上げた地域の合意や、担い手を中心とした施策から大きく方向転換を図るものであり、両町の奨励金は大幅に削減される見込みで、このままでは死活問題となる可能性があります。

新J Aと致しましても行政ルートをはじめ各農業団体と緊密に連携し、組織の総力を挙げ、生産現場の混乱を招かない制度変更を強く要望して参ります。

また農産物価格も景気低迷に加えデフレ経済に入り、流通業界より価格低下圧力が掛かっており、J Aグループの総力を傾注し価格維持に向けた取り組みを進めています。

昨年11月には第26回J A北海道大会が開催され、「北海道農業の潜在能力のフル発揮」と「協同と信頼の絆で築く新時代のJ A」に関する議案が可決されました。このような困難な時こそ、組合員がJ Aへ結集し、行政と各農業団体が力を合わせて政権与党や国に毅然として政策要求を求めて行かなければなりません。

新J Aは本年合併2年目に入ります。新年度は「信頼」をキーワードとして協同組合組織の原点を常に確認しながら積極的な事業展開を図り、「地域の農業」と組合員の「営農と生活」を守るため、役職員一同最善を尽くして参りますので、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

新たな年は共にご健勝で豊穡の出来秋を迎えることが出来ますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。



新年のご挨拶

北海道農業協同組合中央会会長

飛田 稔 章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成22年の新春を家族とともに迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年の本道農業は、夏の長雨と日照不足などの天候不順により、米の作況指数89になる等、総体的に平年作を下回る厳しい結果となり、その被害総額は約600億円の見込みとなりました。

JAグループ北海道といたしましても、関係団体を含めた「平成21年度北海道農業団体冷湿害等対策本部」を設置し、北海道など関係団体と連携して、組合員の営農と生活の安定に向けて諸対応を行っているところであります。

さて、わが国の景気は、国内外の政策発動を主因とする効果により春先以降の持ち直しの動きがあるものの、失業率が5%を上回る高い水準にあり、依然として、世界の金融危機に端を発する経済混

乱の影響を脱しきれない状況にあります。また、北海道農業は、農業者の高齢化と担い手の不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、戸別所得補償制度の導入検討など、農業政策は大転換期を迎えております。

さらに、WTO農業交渉やEPA・FTA交渉の決着に向けた動きが模索されており、その決着如何では北海道農業はもとより、関連産業、地域経済にも深刻な影響をおよぼすことが危惧されております。

このため、JAグループ北海道といたしましては、断固阻止の立場から、今後も、全国のJAグループや道内の経済・消費者団体などと連携し、あらゆる対応を図ってまいります。

こうした中、昨年開催した第26回JA北海道大会では、「協同の力で築く『あすの食をささえる北

海道業』」を主題とし、組合員がJA運動の主人公であることを再確認し、日本の食料基地北海道を自負するJAグループ北海道として、「北海道農業が保有する潜在能力をフル発揮して、農業者が農業生産に意欲的に取り組むことができるための農業所得の拡大に取り組む」とともに、「JAと組合員の強固な結びつきのもと、多様な事業機能の発揮により、組合員・地域住民のみなさまに利用されるJAづくりに向けて取り組むこと」を決議しました。

この決議事項は、向こう3カ年におけるJAが取り組むべき指針であり、その実践を通じて北海道農業がさらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し、安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんが、北海道農業を応援してもらうための取組みであり、また、JA経営に

おいては、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることを目指すものでありますので、全JAでの取組みが求められるものであります。

最後に、金融不況による景気の低迷や、WTO農業交渉等の進展が、私ども農業界に与える影響が懸念されますが、全道の組合員の皆さんをはじめ役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開することにより、この苦境を開けるものと確信しております。

本年は災害がなく豊穡の出来秋を迎えることが出来そうです。よう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。





高野龍一

農業情勢を世界的に見ても、近年はバイオエタノールの増産など、「食料」を生産してきた農業の常識が崩れ始め、その影響もあつて穀物価格と需給バランスは大きく揺れ動いています。また、燃油・生産資材につきましても、肥料が前年比約20%の値下げ、その他の生産資材も若干の値下げとはなりましたが、それでもなお高止まり感はいまもありません。そして農業面のみならず、政府がデフレ宣言を行った事もあるように、景気の反発が期待できる状況ではありません。

なお、例年の行事である食農教育につきましては支部ごとに継続し、栗山支部では白石区青少年

このように様々な青年部活動ができたのも、盟友の協力は勿論のことですが、何よりも盟友のご家族、そして関係機関の皆様・諸先輩の方々の深いご理解、ご協力があったからこそです。新年度の青年部事業推進にあたり、昨年同様にご指導・鞭撻の程をよろしく願います。

結びとなりますが、皆様を始め、ご家族がご健勝で豊穡の秋を迎えられることを心よりご祈念致します。年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

そらち南農協女性部部長

鈴木恵子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新しい年がご家族と共に、ご健康で希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。

昨年は天候に恵まれず、春の長雨、日照不足などで小麦の穂発芽、水稲においては高品質割合の低下などあまり良い作柄とはなりませんでした。

合併に伴い、当農協女性部も121名と部員が増え、仲間作りや情報交換、農業経営のパートナーとして良質な農畜産物や食品加工（味噌、ジュース類）、青年部との交流（田植、稲刈りツアー）、地域行事（栗山夏祭、由仁百足祭、愛のひとにぎり）などを通じ、私たちと消費者の健康を守る活動を今後進めて行きたいと思っております。

女性部の活動にあたり、部員の皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年は豊穡の秋を迎えられますよう、心からご祈念申し上げます。上げ新年のご挨拶と致します。



年末・年始の業務のお知らせ

JAそらち南の年末・年始の営業時間をお知らせします。
ご利用お待ち申し上げます。

年 月 日		本部事務所 支所事務所 生産資材部 営農センター	左記のうち 金融・共済業務		給 油 所	Aコープ店舗
			窓口業務	A T M (現金自動預払機)		
平成21年12月	30日(水)	8:30~12:00	9:00~16:00	9:00~18:00	7:30~20:00	9:30~19:00 (三川店は9:00より)
	31日(木)	休 業	休 業	休 業	7:30~16:00	9:30~16:00 (三川店は9:00より)
平成22年1月	1日(金・祝)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
	2日(土)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
	3日(日)	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
	4日(月)	休 業	通常業務 9:00~16:00 (共済窓口は17:00まで)	9:00~18:00 (三川出張所は15:00まで)	初 売 り 7:30~15:00	初 売 り 9:30~15:00 (三川店は9:00より)
	5日(火)	休 業	通常業務 9:00~16:00 (共済窓口は17:00まで)	通常業務 9:00~18:00	通常業務 7:30~20:00	通常業務 9:30~19:00 (三川店は9:00より)
	6日(水)	通常業務 8:30~17:30 (生産資材部は16:00まで)	通常業務 9:00~16:00 (共済窓口は17:00まで)	通常業務 9:00~18:00	通常業務 7:30~20:00	通常業務 9:30~19:00 (三川店は9:00より)

今年もよろしく お願いいたします

JAそらち南 役員

代表理事組合長	大友伸彦	代表理事専務	中島孝幸	常務理事	佐々木 禎	筆頭理事	北 輝男	理事	荒瀬憲一	理事	松井隆典	理事	石川富夫	理事	細山孝一	理事	国田俊幸	理事	橋場一敏	理事	清水哲雄	代表監事	山本博行	代表監事	國岡正好	監事	萩生田祥潔	常勤監事	松岡 裕	員外監事	角田伸慶
副部長	高野龍一	副部長	名内稔弘	副部長	川合央記	書記長	橋本尚彦	事業部長	細山拓也	事業部長	吉本聖二	監事	蛇谷慎也	監事	窪田新作																

そらち南農協青年部

そらち南農協青年部

そらち南農協女性部

部長	鈴木恵子	副部長	石川文子	副部長	木戸百合子	監事	木内礼子	監事	横井伸子	委員	早坂寿博	委員	大塚敏史	書記長	羽賀直文	総務部長	杉本淳久	農政部長	山田正人	経済部長	蛇谷 靖	組織部長	鷺見幸生	事務局書記	大林典子	委員長	清水哲雄	副委員長	山本 強	副委員長	藤本光行	書記長	藤田 淳	書記次長	大久保明義	事務局	渡辺千賀子
----	------	-----	------	-----	-------	----	------	----	------	----	------	----	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	-------	-----	-------

由仁町農協協議会

栗山町農協協議会

栗山町農業振興公社

理事長	椿原紀昭	副理事長	中島孝幸	事務局長	佐藤好則	事務局次長	上野政則	北海道農政事務所地域八課	課長	佐野弘光	空知農政改良センター空知南支所	支所長	佐々木右治	支所次長	富田信夫	地域第一係長	阿部達男	地域第二係長	国枝尚書	専門普及指導員	猫塚久美子	専門普及指導員	成松 靖	専門普及指導員	齊藤今日子	専門普及指導員	佐藤正之	普及指導員	上原智子	普及指導員	松井梨絵	JAそらち南「ゆめぴりか」生産組合	組合長	南坂明憲	副組合長	岩崎俊博	そらち南減農薬米生産組合	組合長	高嶋雅彦	副組合長	井澤雅彦	副組合長	梅田健一	監事	尾上敬二	監事	日置正敏
-----	------	------	------	------	------	-------	------	--------------	----	------	-----------------	-----	-------	------	------	--------	------	--------	------	---------	-------	---------	------	---------	-------	---------	------	-------	------	-------	------	-------------------	-----	------	------	------	--------------	-----	------	------	------	------	------	----	------	----	------

そらち南農協米作研究会

会長	橋本克己	副会長	塚本政紀	会 計	川畑憲吾	監事	長谷川 誠	監事	藤本光行	委員	大友伸彦	副委員	荒瀬憲一	副委員	西口 明	委員	大友伸彦	副委員	中島孝幸	副委員	北 輝男	委員	荒瀬憲一	副委員	山本博行	副委員	太田智朗	委員	大友伸彦	副委員	中島孝幸	副委員	北 輝男
----	------	-----	------	-----	------	----	-------	----	------	----	------	-----	------	-----	------	----	------	-----	------	-----	------	----	------	-----	------	-----	------	----	------	-----	------	-----	------

そらち南麦・豆類採種組合

組合長	芦澤 功	副組合長	井内 弘	副組合長	藤田 淳	会 計	笹谷和広	監事	新山春義	監事	直江孝由	副会長	権堂孝幸	副会長	山本 進	副会長	高田信夫	監事	背戸孝義	監事	宗像政則	南空知玉葱振興会	会長	吉田寿栄	副会長	山崎臣剛	副会長	田村俊彦	副会長	松下義弘	監事	木戸 好	監事	中嶋淳一	JAそらち南由仁まごころ玉葱部会	会長	黒田良行	副会長	岩崎俊博	会 計	水野宏哉	監事	鳩 滋	監事	隆光
-----	------	------	------	------	------	-----	------	----	------	----	------	-----	------	-----	------	-----	------	----	------	----	------	----------	----	------	-----	------	-----	------	-----	------	----	------	----	------	------------------	----	------	-----	------	-----	------	----	-----	----	----

※そらち南青年部の役員は、新役員を掲載しております。

そらち南農協食用馬鈴薯部会

部会長 浅川景徳
副部長 橋本尚彦
会 計 吉野弘恭
監 事 森本 淳
監 事 大塚敏史

そらち南農協加工馬鈴薯部会

部会長 波 政一
副部長 砂田正春
会 計 羽賀丈恭
監 事 小松豊和
監 事 桜間弘晃

そらち南ジャガキッズ研究会

会 長 斉藤栄吉
副会長 南坂明憲
会 計 清水 清
監 事 高野博康
監 事 元田 隆

南空知南瓜振興会

会 長 馬場克泰
副会長 新山春義
副会長 碓井晴美
会 計 川端 敦
監 事 島 喜代志
監 事 新谷雄二

栗山町「栗マロン」研究会

会 長 大平逸男
副会長 柴田重夫
副会長 日置正敏
会 計 川浦慶一
監 事 佐藤貞男
監 事 井波俊一

グリーンヒル生産振興会

会 長 青山孝弘

そらち南農協山産物販売促進協議会

会 長 荒瀬憲一
副会長 山本博行
副会長 吉田秀弘

そらち南農協山産物販売促進協議会

会 長 大友伸彦
副会長 中島孝幸
副会長 正井文雄
会 計 橋場一敏
監 事 国田俊幸
監 事 細山孝一

そらち南農協種馬鈴しょ協議会

会 長 正井文雄
副会長 吉田秀弘
監 事 上野祐司
監 事 北 輝男

由仁町種馬鈴薯採種組合連絡協議会

会 長 吉田秀弘
副会長 太田智朗
監 事 竹谷仁男
監 事 上野祐司

栗山町種馬鈴薯採種組合

組合 長 正井文雄
副組合 長 橋場一敏
会 計 日置正敏
代表 監 事 北 輝男
監 事 芦澤 功

そらち南農協長葱部会

会 長 棚村 優
副会長 中嶋常隆
副会長 長尾康司
監 事 長谷川 誠
監 事 角 昌幸

そらち南農協軟白長葱部会

会 長 田村繁則
副会長 長 水上信市
監 事 北村正信

そらち南農協ほうれん草部会

会 長 水上信市
副会長 村田 稔
監 事 池田茂幸

南空知花き生産組合

会 長 横井弘一
副会長 高 稔
副会長 廣坂公宏
副会長 田中秀幸
監 事 常本正美
監 事 杉本静男

栗山町花卉生産振興会

会 長 工藤 正
副会長 道順武雄
監 事 亀森辰雄
監 事 西岡賢一

由仁町花き生産組合

組合 長 木戸博文
副組合 長 真保敏昭
会 計 石田博之
監 事 中村正弘
監 事 窪田新作

そらち南農協ピーマン部会

会 長 山田義美
副会長 藤田邦治
監 事 内田雅博
監 事 喜井一憲

くりやまメロン生産組合

組合 長 田村 毅
副組合 長 清水栄一
会 計 幅田正志
監 事 本田 資
監 事 川浦慶一

由仁ナチュラルメロン組合

会 長 森田 斉
副会長 金山和則
会 計 橋本尚彦
監 事 吉本好孝
監 事 熊林重春

そらち南農協キャベツ部会

会 長 雨野俊正
副会長 阿部芳久
副会長・会 計 青山清一
監 事 蛇谷 端

そらち南農協トマト部会

会 長 松本俊一
副会長 水内正博
副会長 長 奥野貴司
会 計 奥野貴司
監 事 太等秀幸
監 事 小野寺 均

そらち南農協食用百合部会

会 長 坂口春男
副会長 長 山本洋義
監 事 仁平拓一

そらち南農協アスパラガス部会

会 長 清水哲矢

副 会 長 渡会伸成

会 計 菅野 寿

監 事 上原晃一

そらち南農協いちご部会

会 長 大西勝博

副 会 長 青山正志

監 事 岩崎芳延

そらち南農協苺苗部会

会 長 久保 護

副 会 長・会 計 塚本政紀

監 事 本村秀明

栗山町農業経営研究会

会 長 藤島浩吉

副 会 長 水上忠信

副 会 長 藤田 淳

会 計 武田 孝

監 事 藤柳一哉

監 事 清水治広

栗山町水田農業推進協議会

会 長 成瀬芳伸

副 会 長 原田政信

副 部 会 長 中嶋悟智

会 計 橋本尚彦

栗山町耕土改良事業協会

会 長 山本 強

副 会 長 水上忠信

会 計 長澤哲哉

監 事 南部政幸

監 事 吉原英夫

そらち南RH防除組合

組 合 長 清水治広

副 組 合 長 寺 雅彦

会 計 長尾卓也

監 事 中島昌一

栗山町水田農業レジオン推進協議会

会 長 大友伸彦

会 長 代理 荒瀬憲一

副 会 長 大島敏弘

副 会 長 野島芳光

副 会 長 渡辺修久

監 事 大塚敏史

監 事 龍島繁行

栗山町水田農業推進協議会

会 長 中島孝幸

副 会 長 川畑典雄

監 事 桂 一 照

監 事 青山 悟

そらち南酪農協議会

会 長 熊林和男

副 会 長 倉知 修

書 記 会 計 三谷孝裕

監 事 黒澤耕一

監 事 権平敬保

そらち南乳牛検定組合

会 長 細田治憲

副 会 長 大井賢治

書 記 会 計 倉知 修

監 事 亀田壮将

監 事 権平敬保

そらち南養豚振興会

会 長 石川富夫

副 会 長 萩原次雄

監 事 辻谷栄治

組 合 長 熊林和男

副 組 合 長 黒澤耕一

書 記 会 計 権平敬保

監 事 馬場 敏

監 事 三谷孝裕

そらち南和牛生産組

組 合 長 蛇谷 靖

副 組 合 長 大櫛和矢

理 事 仁平拓一

理 事 横井弘一

監 事 大井賢治

監 事 滝口賢治

JA北海道大会開催

『あすの食を支える北海道農業』を主題

「第26回JA北海道大会」が20日、札幌白石区にある札幌コンベンションセンターにおいて全道から約1,200名が参加し開催され、当組合からも大友組合長ほか役員計16名が駆けつけました。

JA北海道大会は3年に1度開催されており、今回の大会に併せた記念講演が行われ、その後大会が開始されました。

飛田稔章会長挨拶、高橋はるみ知事の祝辞のあと、大会の主題を「協同の力で築く、あすの食をささえる北海道農業」とし、「北海道農業の発展に全力を尽くす」と意見表明を行い、「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」協同と信頼の絆で築く新時代の「JA」の大会議案を議決、「JAグループ北海道への結集」に関する特別議決が採択されました。



JA北海道大会に参加する当JA役員

謹賀新年



そらち南農業協同組合

参事 齊藤和邦

監査室 高崎泰彦

監査課長 白勢 強

管理部 中川 昇

管理部 鳴海 秀樹

管理部 永山 隆史

管理部 平田 尚美

管理部 嶋田 由恵

管理部 飛渡 弘美

管理部 大柳 瑞絵

管理部 赤尾 千春

企画審査課長 稲田 昌史

企画審査課主任 佐々木 博文

金融部 松村 敏生

金融課長 本田 隆

金融係 河合 智子

金融係 小野寺 歩

金融係 清水 紀子

融資係主任 糸塚 憲士

経営相談係長 工藤 直行

経営相談係長 藤澤 昌弘

経営相談係長 蝦名 誠

経営相談係長 大湊 寿隆

毛利 美貴

菊池 まどか

瀬川 沙織

山川 峰徳

市川 尚巨

石黒 梨奈

武田 彩佳

吉尾 由美子

角屋 卓実

村上 大

松田 夢希

高橋 隆二

事故サービス係

営農部 島 雅昭

営農振興課長 佐野 滋

農業振興係 高田 祥太

富樫 真由

高橋 慎治

棚田 和也

柄澤 公英

鈴木 貴子

坂森 敏宣

尾崎 政春

中村 勝博

〔中村 勝博〕

販売部

販売部長 大田 義治

米麦畜産統括課長 高尾 洋二

米麦畜産課長 清水 邦晃

米麦係長 石田 清

米麦係長 西澤 克美

米麦係長 村岡 博明

山内 一広

馬淵 亮介

吉田 拓

渡辺 鮎美

田村 修司

宮本 佳明

山崎 俊英

佐藤 幸博

加藤 大典

藤本 雄太

山本 郁里

鈴木 俊行

向井 敬祐

河端 亜耶

岩崎 孝

岩崎 慶司

後藤 将孝

高橋 裕輔

森 政徳

佐川 誠

山本 由紀恵

原田 寿博

花き係

生産資材部

生産資材部長 八巻 広一

生産資材課長 高倉 隆幸

資材係長 菅原 尚泰

資材係 立花 一男

古賀 聖都

阿部 幸恵

橋場 このみ

久保 良幸

吉田 敏弘

由仁支所 中田 政行

金融共済課長 林保 和彦

金融係長 井上 聡

金融係 藤本 由香

共済係 千田 宏美

経営相談主任 村上 奨

経営相談係 細川 育

由仁営農センター 高橋 浩

営農係長 酒井 隆次

営農係 高橋 有宇

当摩 直樹

西村 嘉博

高橋 孝正

吉野 孝則

佐藤 千尋

村本 祐守

村田 佳隆

大松 あすか

資材係

資材係

三川出張所

金融共済主任 芝山 まゆみ

金融共済係 高尾 香菜美

継立出張所

継立出張所長 伊藤 秀次

金融係長 村中 由香里

金融係 三原 結花

資材係長 高橋 邦房

資材係 山田 典正

梅メリーワーク出向

総務部長 宮川 哲也

総務係主任 小林 美咲

業務部長 倉知 斉

燃料課長補佐 橋場 君夫

燃料課由仁給油所 吉江 友美

栗山農業振興公社出向

事務局長 佐藤 好則

由仁土地改良センター出向

成瀬 陽一

稲毛 保之

南東部普及センター出向

秋村 聖

職員 115名

嘱託職員 3名

〔 〕は嘱託職員

代表取締役社長 大友伸彦
専務取締役 中島孝幸
常務取締役 山崎了次

職員

総務部総務係 中井美希
業務部生活課中仁店 白井好満
業務部生活課三川店 黒田年保
業務部燃料課課長 増田七美
業務部燃料課課長 小田島茂樹
栗山給油所主任 傳圧喜久夫
栗山給油所係 吉井雅哉
由仁給油所主任 佐藤満
由仁給油所係 鎌田敏雄
販売部花き係 成澤美帆
金融部融資係 山本聖恵
由仁支所金融係 三浦百恵
由仁支所共済係 田村智奈津
由仁支所経営相談係 今村栄子
由仁支所セブイ資材係 辻本秋男
由仁支所セブイ資材係 富澤演枝
三川出張所長 北川美津穂
三川出張所金融係 長澤綱士
三川出張所金融係 鳥井成人
三川出張所金融係 齋藤佳純
三川出張所金融係 菊地静香
由仁支所セブイ資材係 北村麻里奈
酪農ヘルパー 櫻井宣子

臨時職員

総務部企画審査係 當麻由利子
金融部共済係 本堂みゆき
管理部営農指導係 花田久子
営農部農業振興係 加納恵子
販売部米麦係 有塚由美子
販売部畜産係 国田好枝
販売部野菜係 鈴木由美子
販売部花き係 野呂直子
販売部野菜花き課 小林展子
生産資材部農業機械係 稲田律子
生産資材部資材係 府川麻姫
由仁支所セブイ資材係 成田鮎美
販売部野菜花き係 田口智晶
販売部野菜花き係 安達さとみ
桜井淳平 矢野忠憲
鎌田砂千子 橋本義光
西山裕哉 金山美穂
島崎卓 田中明敏
大石啓子 立原寿美子
松本奈緒子 加藤明美
岩部由江 錦古里伸子
湯瀬道子 中村みふ子
田崎洋子 岡村淑江

職員 22名
嘱託職員 4名
臨時職員 32名

当JA苺苗部会 育苗施設完成

施設完成披露会開催される

12月9日、当JA苺苗部会 苺苗親株育苗施設完成披露会が開催されました。

披露会には、栗山町長始め空知農業改良普及センター南東部支所などの各関係機関と生産者約40名が出席しました。

当施設は、大型ハイブハウス2棟、空中採苗装置、温風暖房装置が設備され、苺苗部会が事業主体となり、北海道地域政策総合補助事業により導入したもので、生産者組織が主体では、全国初。

苺苗生産では、健全な苺苗生産のためには健全な親株を確保する事が重要であることから、今回、苺苗部会で親株の一次増殖の自己完結型苺苗生産システム確立のため施設化に取り組みました。

数年後には、出荷数量百万株、販売金額5千3百万円を目指します。

生産品種は、けんたろつ、とちおとめ、章姫、紅ほっぺ、サマールビーなど多種にわたり、現在の主に千葉県とのリレー苗方式から自己完結型生産に変わり、全国へ向けて苗販売を行い、将来的には、家庭栽培向きにも販売し、付加価値を付けて販売する事を目指します。



細粒綿を使用した、採苗装置



装置について説明を受ける関係者

収穫の喜びと自分で作る楽しさを知る

各小学校で収穫祭・食育体験を実施

自分達の手で植えて刈り取ったお米や地元
の農産物を皆で調理して美味しくいただく収
穫祭がJA管内の各小学校で11月から12月
にかけて行われました。

11月24日には由仁小学校で児童達が収穫し
たお米や学校の畑で栽培した馬鈴しょ、そし
て地元の野菜を使ってカレーライスを作り、
田植えや稲刈りの際にお世話になったJA青
年部由仁支部の皆さんと交流を通じ、食と農
について、勉強していました。

実際にカレーライスを作って食べた児童達
は「美味しい」、「面白かった」と語りなが
ら夢中で頬張り、おかわりをする子が何人も
いました。



12月24日 由仁小学校



12月9日 栗山小学校

同様に、栗山小学校の5年生が12月9・10
日に収穫祭を行い、田植えや稲刈りでお世話
になった栗山地区富士の長尾康司さんより、
この日のために自家製野菜が提供され、皆で
カレーライス作り、地元の農産物の美味しさ
を噛み締めていました。

また、JA管内の角田小学校、継立小学
校、三川小学校でもそれぞれ自分達で収穫
したお米や農産物を美味しくいただき、また
各小学校とも独自に工夫を凝らした食育が行
われました。

稲を自分達の手で植え付け、収穫を体験
し、最後に実際に口にするまでの過程を通
じて、自分達が住む土地の農作物に対し少
しでも関心を持つて貰えればと願います。



12月10日 角田小学校

また、12月10日から21日にかけて栗山町4
Hクラブが栗山町内の各小学校で手打ちうどん
教室を開催しました。

このうどん教室は栗山町産小麦のPRと地
産地消の推進を目的に毎年行われているもの。
当日は、4Hクラブの皆さんが児童達につ
どんの打ち方を分かりやすく教え、うどんを
寝かせている間に小麦の生育や日本の食糧事
情についてお話がありました。

児童達は小麦粉をこねながら「面白けれ
ど、段々手に力が入らなくなって疲れる」と
初めての体験の感想を語っていました。

このうどん教室でも児童達は自分達で食べ
るものを自ら作る楽しさを学びました。

10周年の門出を祝う

南空知花き生産組合設立記念式典

南空知花き生産組合が設立10年目になるのを記念して、記念式典が11月28日にJA本所3階大会議室にて、道内外から多数のご来賓の方々のご出席を賜り、盛大に執り行われました。

式典は南空知花き生産組合の横井弘一組合長の式辞から歴代役員の方々と販売市場の方々への感謝状の贈呈へと移り、当JA大友組合長を始めとするご来賓の方々からご祝辞を頂き、閉会となりました。

設立記念式典に引き続き祝賀会も行われ、参加した皆さんは花き生産・販売に携わってきたこれまでの歩みを振り返り、思い出話に花を咲かせました。

最後は北海道花き生産連合会の阿部会長の音頭による一本締めにより祝賀会は幕を閉じ、今後の更なる発展を誓いました。



式辞を述べる花き生産組合 横井組合長



感謝状を贈呈された歴代組合長の皆さん

新しい農業政策に焦点

冬期地区別懇談会開催される

農協地区別懇談会が11月30日から12月4日にかけて実施されました。

懇談会では、未だ定まっていない米戸別補償モデル事業や水田活用・自給力向上事業などの事業内容の説明の後、質疑応答では多くの意見・質問があり、充実した懇談会となりました。



12月2日 由仁東三川地区



11月30日 栗山継立・日出地区



平成22年度営農計画書 集中受付の実施について

1. 日 時：下記の日程表の通りご連絡致します。
2. 持ち物：平成22年度営農計画書・保証書・クミカン登録印・関係する手持ち資料
3. 注 意：営農計画書は、各自事前に記入してお持ち下さい。

【栗山地区】

日 付	時 間	対 象 地 区	場 所
1月18日 (月)	9:00~12:00	栗山 桜丘 山の手 富士 中里 湯地1・中央・3 森	農協本所3F 大会議室
	13:00~16:30	鳩山1・2・3 雨煙別南・西・東 昭和 緑丘1・2・3	
1月19日 (火)	9:00~12:00	北学田1・2・3・5 桜山 杵臼1・中央	
	13:00~16:30	杵臼3・南 旭台1・2・3・4・5	
1月20日 (水)	9:00~12:00	共和1・2・3 三日月 角田 阿野呂1・2	
	13:00~16:30	南学田1・2・3・4・中央	
1月21日 (木)	9:00~12:00	継立 日出1・2・3 御園1・2	
	13:00~16:30	御園北 南角田1・2 円山1・2 東山 滝下1・2	

【由仁地区】

日 付	時 間	対 象 地 区	場 所
1月19日 (火)	9:00~12:00	山形 古川 山榊南	由仁支所3階 大会議室
	13:00~16:30	伏見 下古山 山榊北	
1月20日 (水)	9:00~12:00	中岩内 古山北 古山南	
	13:00~16:30	上岩内 下岩内	
1月21日 (木)	9:00~12:00	西三川北 西三川南 本三川北	古山集落 センター
	13:00~16:30	東三川東 川端北部 川端中央 川端みなみ	
1月22日 (金)	9:00~12:00	熊本 本三川南 中三川中央	
	13:00~16:30	中三川西 東三川南 東三川平成 東三川北 東三川中央	

各種事故・トラブル発生時の連絡先

	営 業 時 間 内	年末年始休業日（31日～3日） および営業時間外
キャッシュカード 盗難・紛失の際の 出金停止など	本 所 金 融 部 ☎72-1311 由仁支所金融共済課 ☎83-2322 継立出張所金融係 ☎75-2226 三川出張所金融共済係 ☎87-3036	北海道信連システム運用課 ☎011-251-4960
ご契約のお車の 事故やトラブルに 遭われた際の連絡先	本 所 金 融 部 ☎72-1406 由仁支所金融共済課 ☎83-2322	JA共済事故受付センター ☎0120-258-931

第35回 Aコープチェーン農協連合展示会

春の華秀苑 大総合展

◆と き／平成22年1月22日(金)～25日(月)

【営業時間：AM 9:00～PM 9:00 25日は午前中まで】

◆ところ／登別グランドホテル 3階大会場

きものの・婦人服・宝飾の祭典

【同時開催】コート・バッグ・メガネ・オーダー靴

*参加ご希望の方はAコープ店にお申し込み下さい。

■主催／Aコープチェーン北海道苫小牧ブロック協議会
JAそらち南・JA道央 ■後援／ホクレン



ご参加者特典

- 登別グランドホテルに1泊ご招待致します。
但し、宿泊費一部ご負担いただきます。
- 宿泊の方・・・5,000円（土曜日は6,000円）＊日帰り無料
当日会場にて申し受けます。
- 会場まで無料送迎致します。
- 84,000円以上お買上の方に負担金全額返金。
- 豪華夕食会 ■お楽しみ大抽選会

当農協のバス誘致日は1月22日(金)です

*バス時刻等は農協係員がご案内致します。

豪華新春 お年玉お楽しみクイズ



〈応募方法〉

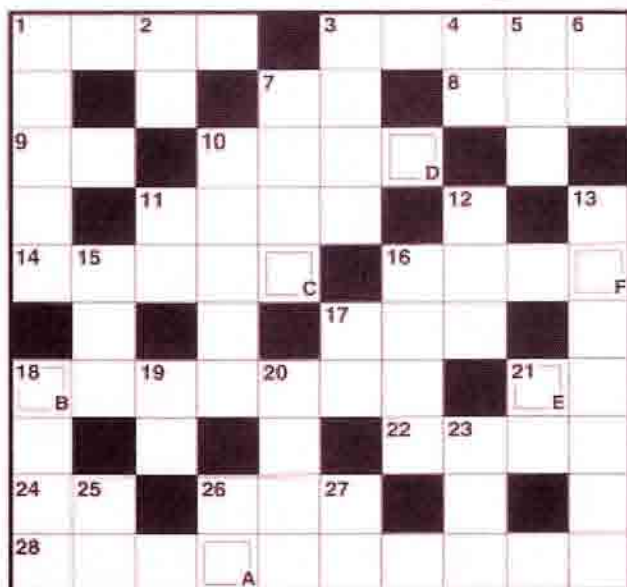
官製ハガキに答え、住所、氏名、年令をご記入の上、
J A そらち南「お年玉お楽しみクイズ」係まで応募下
さい。

〈締め切り〉

1月15日（金）必着です。

〈当選発表〉

2月号の誌上で発表します。



ヨコのキー

- 1 日本式バドミントン。負けた人の顔には墨をめろうよ
- 3 新春によく耳にする、宮城道雄作曲の事の調べ
- 7 今年のおせちは量より〇〇だね、いつもより一段と豪勢だ
- 8 甘酒、ぜんざい、〇〇〇、甘党のデザートも準備万端
- 9 新年の床の間には、だいたいやウラジロでかざった鏡〇〇
- 10 煮〆の中の一品にも使われる歯ざわりのいい蓮の根
- 11 おみくじひいた？今年の〇〇〇〇はどうだった？
- 14 消防士の新年の儀式。はしごのりは、みられなくなりましたね
- 16 ポウなどの卵巣から作る珍味カラスミは長崎の〇〇〇〇品
- 17 うどんの中にヨコのキー 9 を入れたものを〇〇〇うどんといいます
- 18 正月の7日は七草粥。お粥だったら離乳期の赤ちゃんでも食べられます
- 21 その年の干支にあたる人は〇〇男
- 22 ふだんはともかく、元日のタテのキー 15 を盛る時ぐらひは凝ってみたい器
- 24 太宰府天満宮で正月7日に行われる神事に使われる木製の鳥
- 26 正月混み合う成田山新勝寺。祀られているのは〇〇〇尊
- 28 すいぶん様変わりしましたが、楽しみにしている人もいる、年末恒例の歌番組

初夢大賞

ペア温泉宿泊券 1組

- ★お年玉特賞 商品券5千円1名
- ★お年玉賞 商品券3千円1名

タテのキー

- 1 正月、初めて社寺に参詣すること
- 2 〇〇は千年、カメは万年
- 3 生まれて初めての恋
- 4 お年玉用の小さな〇〇袋
- 5 重箱もヨコのキー 2 も、この塗りのもののお手入れは念入りに
- 6 若い女性の神社の〇〇さん
- 7 〇〇〇〇〇が一堂に集まるお正月、本家はてんやわんや
- 10 日頃の〇〇〇〇〇の成東
- 11 天神様の境内にはたいてい植えてある木
- 12 歌舞伎十八番の中の一“景清”の性は何？
- 13 年賀状に習慣的に使われる四文字熟語
- 15 味噌仕立やすまし汁、各家庭にそれぞれの味がある新年の椀物
- 16 〇〇〇〇〇〇をはずしたらどんな美人のおかめに仕上がってたワ
- 17 ♪ 君が代は～、〇〇に～
- 18 実力の伯仲した二人のことをいいますが、一人でこの名を独占した関取も
- 19 一富士、二鷹、三なすび、悪いのはバクにあげよう
- 20 学校の書初展、入選作は〇〇〇〇部員が独占
- 21 永遠に、永久にいつまでもということ
- 23 始祖、起源。日本人の〇〇〇〇をさぐる
- 25 百人一首、姫が出ればもう一枚、出ちゃ困るのは
- 26 笑う門に来ます
- 27 宮中の新年の儀式。両陛下臨席のもと行われる〇〇会始め

ヒント：お正月ですもの（^、^）

答え

A	B	C	D	E	F



左から
佐藤 千尋（由仁営農センター）
高尾香菜美（三川出張所）
清水 紀子（本所貯金課）

撮影場所：由仁地区 小別正昭さんラナンキュラス花きハウス内にて

新年明けましておめでとうございます。

今月の表紙は、干支（寅）にちなみまして、昭和61年生まれの子JA女性職員を紹介いたします。

本年も良い年でありますように心からお祈りいたします。



今月の表紙

※12月17日（木）の第12回理事会報告は、2月号に掲載致します。

1月の売り出し予定 Aコープ

4日…初売り(9:30～15:00)

5～6日…Aコープ新春一番祭

8～9日…Aコープ新春感謝祭

15～16日…Aコープお買得市

19～20日…88円均一

22～23日…Aコープ週末感謝祭

26～27日…Aコープ得の市

29～30日…本決算大市

A-COOP 由仁店・三川店
○三川店…毎週日曜日休み

29日	27日	18日	14日	6日	5日	4日
決算棚卸・全体会議	第14回理事会	第13回理事会	第8回監事会	一般業務初め 役員新年交礼会	Aコープ・給油所通常営業	Aコープ・給油所初売り 金融業務始め

1月の行事

JAそらち南農産物産直市部会（仮称）設立に伴う 会員（JA直売所・産直市の出品者）の募集について

JAそらち南農産物直売所や産直市へ、自ら生産・加工した農畜産物を一般消費者に供給することを目的とし、このたび、JAそらち南農産物産直市部会（仮称）を設立いたしますので、ご参加いただける会員を募集いたします。

詳しくは、株式会社メリーワーク
TEL83-2362事業部倉知までお問い合わせ下さい。



南空知コボロの会
12月11日フラワーアレンジ
講習会にてテーマ『迎春』



あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は低温、長雨により農作物の生育に支障をきたしましたが、今年は何事も無く豊穰の秋を迎えられるよう願ってやみません。
外に出て体を動かす機会が減る季節ですが、健康のために積極的に運動をしようと思っております。皆さんも一緒に如何でしょうか。
新年に突入し、昨年には無かった新しい試みにも挑戦したいと考えています。
取り上げて欲しい事柄や地域のちよつとした話題なども随時募集いたしますので、何かありましたら是非ご連絡ください。
これからもよろしくお願い致します。

編集後記



そらち南 くみあいだより

2010 新年号 Vol. 12

■発行 2010. 1. 10(毎月1回)

※次号(2月号)は、2月10日発行予定です。

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷